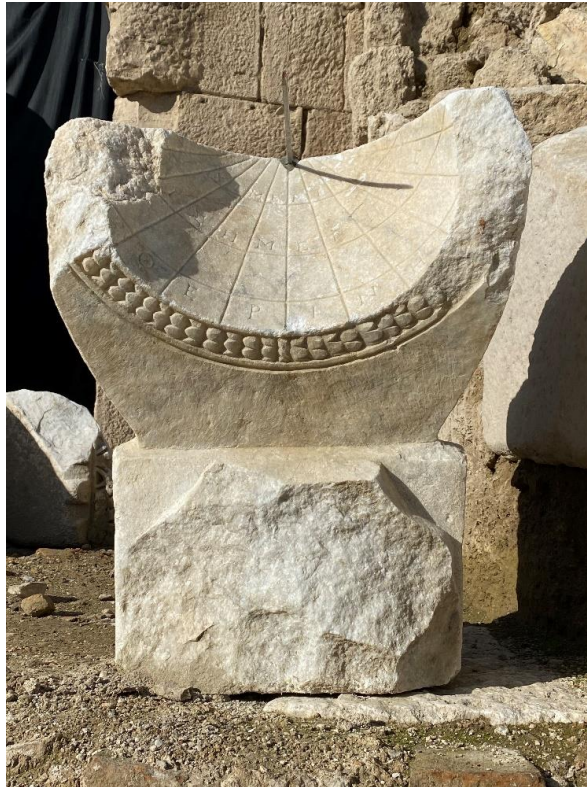


【トルコ共和国大使館・文化広報参事官室】 アナトリアで発見された 2,000 年前の日時計のご紹介

トルコ西部のデニズリにある古代都市ラオディケアで行われている発掘調査と修復作業中に、ヘレニズム時代の季節を示す日時計が発見されました。



ユネスコ暫定世界遺産に登録されているデニズリの古代都市ラオディケアで行われている発掘・修復工事の中で、アウグストゥス帝時代の 2000 年前の季節と月を示す日時計が発見されました。

パムッカレ大学芸術科学部考古学科のジェラル・シムシェッキ教授が率いる発掘調査チームは、これまでに多くの重要な遺物を発掘してきました。発掘チームが新たな発見に到達したことに言及し、シムシェッキ教授は次のように述べられています。

「ヘレニズム時代にさかのぼるヨーロッパ調の劇場にある北パラドス通路で、古代都市で南向きの球形の日時計を発見しました。これは 2000 年前にさかのぼって作られたものと考えられます。日時計の固定されたブロンズ製の表示棒(グノモン)が不明ではありますが、この棒の影が落ちた線を季節や月によって見ることができ、一日の時間帯を特定することができたと考えられています。これは他に類を見ない逸品であり、大変喜ばしい限りです。文字盤に刻まれているのは、上段にギリシャ語で冬を意味する「ヘメリニ」、中段に昼夜の平等を意味する「イシメリニ」、下段に夏を意味する「セリニ」です。日時計は四分の一の球体の形をしており、季節や月によって表示棒を見ることができました。日の短い月には、上の細い部分にある表示棒の影を基準にして時間を決定し、これを「ヘメリニ」または「冬」と表記した。3月21日～6月21日の真ん中のセリニ(夏至)区間を基準に時間を決定し、その後、下の方の広いセリニ(夏)区間を基準に時間を決定していたと思われます。」

シムシェッキ教授は、大理石の日時計の縁には葉っぱのモチーフがあり、このような遺物は珍しいと述べています。



シムシェッキ教授によると、日時計がエジプトに最初に現れたのは、ファラオ・トメス 3 世(紀元前 1504～1450 年)の時代と考えられています。「日時計は、アレキサンダー大王がバビロンを征服した後、紀元前 331 年に西洋に持ち込まれました。バビロニアの天文学者ペロソス、内周面に目盛りのある球形の日時計を発明したと言われていました。ラオディケアで発見された日時計はこれで 3 本目となり、過去に見つかった日時計の 1 つは部品が欠損しており、もう 1 つは無傷ですが、このたび発見された 1 年を通して太陽の位置を基準とした時間の区切りを碑文で表現している、これほど詳細な日時計は初めてのことです。このように時間を詳細に表示したこの日時計は、世界的にも非常に希少な標本の一つとなりました。ラオディケアは、識字率が高く、豊かで、芸術文化が発達した重要な都市でした。このようなヘレニズムの劇場でこの日時計を見つけられたことを大変嬉しく思っています。

ラオディケアには、北と西に二つの劇場があったことを指摘し、「西部にある 2200 年前のヘレニズム様式の劇場を復元するプロジェクトの下で、私たちは努力を続けています」とシムシェク教授は述べています。

古代都市ラオディケアについて

古代都市ラオディケアはリュクス川の南側の地理的に適した場所に位置し、いくつかの古代の資料では、この都市は「リュクス川の上のラオディケア」と呼ばれています。他の古代の資料によると、この都市は紀元前 261 年から 263 年にアンティオコス 2 世テオスによって設立され、彼の妻であるラオディケにちなんで名づけられたとされています。紀元前 1 世紀に小アジアで最も重要な都市の一つとして知られており、ラオディケアの最も偉大な芸術作品はこの時代に見受けられます。ローマ人はまた、ラオディケアを重要視し、キピリア(ギュルヒサル=ホルズム)コンヴェンツス(ローマの属州に設けられた審問延)の第一都市としました。皇帝カラカラの治世下において、高品質のコイン類は、ラオディケアで鑄造されていました。数多くの記念碑は、ラオディケアの人々の寄付により市内に多く建てられました。ラオディケアは、小アジアの 7 つの最も重要な教会(ヨハネの黙示録と言われている七教会)の 1 つを擁し、また、この地におけるキリスト教の重要性を証明しています。

ラオディケアの近くにある他の観光地

古代都市ラオディケアはユネスコの世界文化遺産と自然遺産に登録されている世界的に有名なパムッカレの石灰棚まで車で 25 分、古代都市ヒエラポリスまで車で 21 分です。



トルコについて

地中海沿岸に位置し、有名なボスポラス海峡が隔てるアジアとヨーロッパを結ぶトルコは、多様な気候と文化交流の中心地であることにより、何世紀にもわたる多様な文明が反映された歴史、自然や美食を有し、2019年には約5,200万人の観光客をお迎えしました。文化が交差するこの国は、伝統とモダンが融合した芸術やファッションに大変寛容で、またダイナミックなショッピングとエンターテインメントライフによって世界中から訪れる人々を魅了し続けています。

詳細は以下ウェブサイトをご覧ください。

<http://www.goturkey.com>

Facebook: <http://www.facebook.com/tourismturkey.jp>

Twitter: <https://twitter.com/TourismturkeyJP>

Instagram: <https://www.instagram.com/tourismturkey.jp>

Youtube: <https://www.youtube.com/c/tourismturkeyjp>

報道関係者の皆様からのお問合せ先：
トルコ共和国大使館・文化広報参事官室広報代理店
アビアレップス株式会社 井原英美・佐々木慶子
Turkey.japan@aviareps.com